

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

# 熊本県人権子ども集会

「熊本県人権教育・啓発基本計画」の趣旨を踏まえ、児童生徒を主体とした活動を通して、すべての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指します。

**テーマ** COLOR ～知る努力、知ってもらう勇氣、広がる笑顔～



令和3年度(2021年度)「心のきずなを深める」ためのポスターから

配信期間

令和4年(2022年)

10月27日木～

令和5年(2023年)

1月31日火

実施方法

オンライン (オンデマンドによる配信)

場所

各学校等

配信内容

★オープニング

令和3年度(2021年度)人権メッセージ  
「やさしさを広げよう～わたしの思いやり宣言～」  
作品集(熊本県)から

(1)開会

(2)子ども実行委員長あいさつ

(3)体験・活動報告

県内の小学校・義務教育学校、特別支援学校、  
高等学校の児童生徒の皆さんによる  
体験・活動報告

(4)集会メッセージ発表

(5)閉会

★エンディング

熊本県人権啓発  
キャラクター  
「ココロ」



**主催** 熊本県教育委員会

**共催** 熊本県PTA連合会、熊本県公立高等学校PTA連合会、熊本県特別支援学校PTA連合会

**後援** 熊本地方事務局、熊本県、熊本県議会、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本県市町村人権同和教育連絡協議会、熊本県人権教育研究協議会、熊本県市町村人権啓発推進連絡協議会、部落解放共闘熊本県民会議、部落解放同盟熊本県連合会、全日本同和会熊本県連合会、熊本県市長会、熊本県町村会、熊本県隣保館連絡協議会、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会、社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会、熊本県社会教育委員連絡協議会、熊本県公民館連合会、熊本県青年団協議会、熊本県地域婦人会連絡協議会、社会福祉法人熊本県ひとり親家庭福祉協議会、熊本県子ども会連合会、熊本県小学校長会、熊本県中学校長会、熊本県公立高等学校長会、熊本県私立中学高等学校協会、熊本市PTA協議会、公益社団法人熊本県老人クラブ連合会、一般財団法人熊本さわやか長寿財団、国立療養所菊池恵楓園、菊池恵楓園入所者自治会、水保市立水保病資料館、熊本県人権擁護委員連合会、熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会、ともに拓くLGBTQ+の会くまもと、熊本日日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞熊本支局、西日本新聞社熊本総局、読売新聞西部本社、日本経済新聞社熊本支局、産経新聞社、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791



ぶらくさべつ さべつ  
部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

くまもとけん じんけん こ しゅうかい

# 熊本県人権子ども集会メッセージ

くまもとけんじんけん こ しゅうかい ぶらくさべつ さべつ  
熊本県人権子ども集会メッセージは、部落差別(※)をはじめあらゆる差別やいじめをなくしてい  
くために作られました。

しゅうかい  
集会のテーマである“COLOR”には、どんな意味があると思いますか。

あなたは、友だちや家族の好きな色、好きなこと、好きなものを知っていますか。

また、自分と違うところを知っていますか。周りや違うからという理由で自分の色・考え・個性  
を出せない人はいませんか。今、隣にいる人は、自分のことを知ってくれていますか。あなたは、  
隣の人を知っていますか。みんなとは違うからといっていじめたり差別したりすることは許されません。

ぶらくさべつ さべつ  
部落差別をはじめあらゆる差別やいじめは今も起きています。

いま じぶん となり ひと いちどみ ちか きづ  
今、自分の隣にいる人をもう一度見てください。いじめは、近くにいっても気づきにくいものです。  
あなたは、大丈夫じゃない時に「大丈夫じゃない」と言うことができているのでしょうか。きっと  
言える人は少ないと思います。

なぜ、「大丈夫じゃない」と言えないのでしょうか。それは、自分の考えや思いを伝えることを  
ふあん おも  
不安に思っているからかもしれません。自分のことを話すことは、少し難しいと感じるかもしれません。

そこで、「おはよう」と挨拶から始めてみませんか。小さなことから話ができるようになれば、  
じぶん つた  
自分のことを伝えることができるようになるのではないのでしょうか。

また、友だちのことを、少しでも知っていれば、「大丈夫」と返ってきて、それが本当に  
だいじょうぶ かんが  
大丈夫なのか考えることができ、「相談にのるよ」と、一言かけることができます。大切な人と温  
かく穏やかに過ごすことができるように、そばにいてください。

ここにいる人たちは、みんな同じではありません。一人一人自分らしい素敵な色・考え・個性  
も  
を持っています。

似ている色の人や、色も違う色を持つ人もいます。

「いろいろな考えを持っていい」「一人一人個性を持っていい」「違うことが当たり前」、自分と  
似ているところに共感し、違うところを互いに伝え合い、理解し尊重していきましょう。一人一人  
が持っている“COLOR”をかけ合わせ、たくさんの虹をともに作りましょう。

たくさんの人権問題による、差別やいじめが起きています。一人一人が自分のことのように考え、  
おかしいことをおかしいと言えるように調べてみてください。

しゅうかい さんか わたし ぶらくさべつ さべつ みらい  
この集会に参加した私たちから、部落差別をはじめあらゆる差別やいじめのない未来をつくる  
か はし いっぽ ふ だ  
架け橋の一步を踏み出していきましょう。

れいわ ねんど ねんど くまもとけんじんけん こ しゅうかい こ じつこういいん いちどう  
令和4年度(2022年度)熊本県人権子ども集会子ども実行委員一同

ぶらくさべつ う ぼしょ す す ぼしょ りゆう さべつ  
※部落差別：生まれた場所や住んでいる(住んでいた)場所を理由に差別すること